

学報

スポーツ文化の風を発信する

NITTAIDAI

2011

2011. Winter



楽しもう!日体大

特集■日体大を使いこなせ!

キャンパスライフがさらに充実!学生サポートデスク、学生食堂、コンビニ、専門店など学内のお役立ちスポットを徹底チェック!

大学院博士前期課程に「体育実践学コース」を新設——7

第16回アジア大会で次代を担うエース達が活躍——10

新入生導入プログラム『体育・スポーツ科学入門』より——11

クラブ情報●2010年度下半期クラブの主な大会成績——13

NEWS●2010年度下半期ニュース——14

INFORMATION●dot.NITTAIDAI——15

表紙/2010年度 学生チャンピオン ラクロス部女子チーム

日体大を使いこなせ!

買う

食べる

使う

Q

Q

Q

- ★ ローソンS日体大前店にある秘密兵器とは?
- ★ ヤマザキYショップ (YSP) 日体大店の人気はU選手必携の〇〇〇〇〇〇〇—
- ★ 店員さんのおススメ本、ベスト3は?
- ★ 体操、新体操のユニフォームと言えば?
- ★ 日体大生以外にもグッズを買いに来るショップは?

- ★ 一度は挑戦したい伝説のカレーとは?
- ★ ファン急増中! クセになるあのソースの名前は?

- ★ 就活の切り札! 日体大ロゴ入り、オフィシャル名刺が作れるお店は?

※答えは記事の中!

授業に部活。忙しい毎日だからこそ、時間を賢く使いたい。そんな皆さんのために、東京・世田谷キャンパス、横浜・健志台キャンパスには充実したアメニティのサービスが用意されています。今号の特集では、利用のヒントやお得な情報が満載。ぜひチェックして、日体ライブをいっそうエンジョイしてください。

INDEX

「使う」	2p	学生サポートデスク	●S
「食べる」	3p	学生食堂 [レオック]	●S
		学生食堂 [銀座スエヒロ]	●S ●K
「買う」	5p	コンビニ [ローソンS日体大前店]	●S
		コンビニ [ヤマザキYショップ (YSP) 日体大店]	●S ●K
		ショップ [ササキスポーツ]	●S ●K
		ショップ [三省堂]	●S ●K
		ショップ [リス]	●S ●K



学生サポート デスク

日体大生の強い味方。やりたいこと、行きたい場所、欲しいものがあつたらまずはGO。あなたのワガママをかなえてくれるキャンパスライフのコンシェルジュをご紹介します!

「使う」

就活・資格から旅行、免許、一人暮らしまで、なんでもサポート

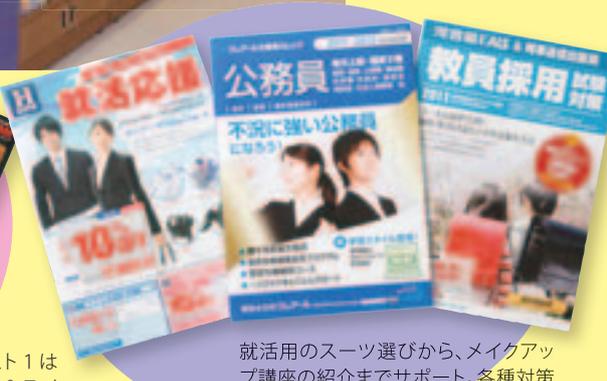
東京・世田谷キャンパスの学生食堂前にある「学生サポートデスク」。キャンパスライフを充実させてくれる商品・サービスがいっぱい。しかも、日体大生だけのために設定された格安な料金で提供しています。旅行に行きたいけれど場所が決まっていない、部屋の模様替えをしたいなど、漠然とした相談もOK。プロのスタッフが親切に対応してくれます。

<サービス内容>

営業時間 月～金 9:00～17:00
 教習所案内(通学・合宿) 国内・海外旅行 ゼミ合宿(貸切バス、合宿所) JR・航空券販売 海外留学(語学・研修) ユースホステル・国際学生証 資格学校・英会話学校 レンタカー 眼鏡・コンタクト 賃貸 不動産 引越・運送 一人暮らしサポート 紳士服・スーツ 家電・パソコン 日体大オフィシャル名刺 保険(旅行保険、学生保険) ほか



卒業旅行の人気旅行先ベスト1は「グアム・サイパン」。スキー&スノーボも格安料金で取り扱っています。



就活のスーツ選びから、メイクアップ講座の紹介までサポート。各種対策セミナーの申し込みも可能です。



通いやすい近隣教習所、合宿教習所をご紹介します。検定料や追加教習料などが無料となる特典もあります。また、部屋探しやインテリアコーディネートの相談にも応じます。



就職活動の必須アイテム。日体大の校章、またはロゴマークが入ったオフィシャル名刺を作ることができるのはここだけ。あなたの頑張り+日体大のブランドで内定を獲得!

校章やマーク、書体、紙質等、複数のバリエーションを用意しています。校了(内容チェック)後5日程で引き渡しが可能。利用の際は学生証を用意してください。



支店長
澤田 直さん

担当者ココがおススメ

学生時代しかできないことをおトクに!がモットー。旅行からデートのコーディネートまで“予約の達人”がサポートします。もちろんゼミ合宿等の団体旅行もおまかせください。利用上の注意としては、こちらから連絡した際、早めにレスポンスしていただくと助かります。



体育学科4年
太田 志帆さん

学生のイ手押し

実は後輩から教えてもらってサポートデスクを利用しました。行先を迷っていた卒業旅行もスタッフの方と相談してサイパンに決定。1人3万円台なんてビックリです。フィンスイミングクラブに所属していましたので、きれいな海を思い切り楽しんでみたいです。



アスリートの栄養を 専門家がサポート。 各種フェアもお見逃しなく!

運営するLEOCは、人気サッカーチームの食事管理なども務めるプロ集団。ボリュームはもちろん、栄養管理の行き届いた食事を提供しています。日替、週替の定食、パスタ、麺類と充実メニューを用意。新キャンパスでおしゃれなレストラン気分を満喫してください。

営業時間：月～金 10:00～18:00 19:00～20:00
土 11:00～14:00 [通常期]



人気メニュー ランキング



唐揚げ丼/380円

- ①唐揚げ丼
- ②日替昼定食A
- ③ラーメン

人気トップは唐揚げ5個がてんて盛りの唐揚げ丼。生姜焼き丼、ピビンバ丼も上位。日替では、揚げ豆腐などヘルシーメニューが女子に好評。小腹を満たしてくれる麺類も根強いファンを集めています。



ラーメン/350円

調理場潜入レポート

カウンターを除き、調理スタッフは3名。朝7時から仕込みを始めて、1日約600食を調理している。ランチタイムは、人気の揚げ物づくりで、ほとんど火の前を離れられない。午後は片付け、夕食や翌日の準備。部活専用の夕食など、夜21時過ぎまで仕事が続く。



とっておき グルメ情報

●ラーメンフェア

北海道ラーメン「むつみ屋」の味をそのまま提供するラーメンフェア。食通の日体大生なら、こんなラーメン、メニューを食べたいなど提案してみるのもいいかもしれません。

●大盛りフェア

通常料金で大盛りがOK。このチャンスは見逃せません。LEOCでは、これらキャンペーンやフェアの回数を増やしていく予定。学食のお知らせをチェックしてください。

●★MEGA★カレー

2人前ライスにタマゴ、唐揚げ、カツ、ハンバーグなどの豪華トッピング。日体大生なら誰でも一度は挑戦する伝説のメニューです。女子なら2人で1皿を注文するのもいいかも。

・食べ残し、箸、スプーンなどを分別しないで下膳台に置く
(重ね過ぎると、レーンが止まったり、洗淨に支障をきたすことがあります)
・食堂以外の場所に持ち出して食べる
・湯呑、はしなどを持っていってしまうなど
そのほか混雑時には譲り合って利用するなど、マナーを守りましょう。



短期大学部 体育科1年
金子 あんなさん

学生のイ子押し

学食は週3～4日利用。休み時間や空き時間も友達と食堂で過ごすことが多いです。お気に入りにはマーボー豆腐丼とカツカレー。外はサクッと、中はジューシーな揚げ物も好きですね。「今日は何にする?」と、カウンターの方の親しみやすい一言もうれしいです。



店長
板垣 健介さん

担当者ココがおススメ

ボリュームと栄養バランスを考えながら、本社の管理栄養士と相談してメニューを決めています。サイドメニューやサラダなど、季節感を出すためのひと工夫も。味、量、値段、そしてなにより学生の皆さんに楽しんでいただける食事を提供しようと頑張っています。

毎日の元気に欠かせないのが食事。気になる人気メニューや隠れた一品など、ランチタイムがもっと楽しくなる情報を紹介。調理場で日々奮闘するスタッフの方々に感謝!です。



人気レストランの味を
キャンパスで。

バリエーションも豊富!

老舗スエヒロが運営。自慢の肉料理はもちろん、本格メニューをリーズナブルな料金で提供しています。メニューは定番スエヒロランチ、丼物から健志台ランチ「金」「銀」「銅」「スペシャル」まで豊富なラインナップ。パワーがチャージできること間違いありません。

営業時間：月～金 10:00～18:00 [通常期]

人気メニュー
ランキング

- ①スエヒロB
- ②健志台ランチ[金]
- ③ミニ丼



スエヒロB / 460円



ミニ丼セットB / 300円

スエヒロB(チキンカツ)はチャイナソースが大好評。ソース多めに!という声も多いとか。野菜たっぷり、甘酢テイストのスエヒロ秘伝のソースです。ミニ丼は朝と昼で2回利用する方にうれしいお手頃メニュー。

調理場潜入レポート

男子学生のほとんどが大盛りを注文。1日に炊くお米の量は約160kg。これを支える調理スタッフは朝6時からスタンバイ。仕込みはもちろん、カレーを入れると6種類にもなるソース・ルーやスープ等の準備を始める。洗い物を終える午後2時頃まで立ちっぱなし。

とっておき
グルメ情報

◎健志台ランチ(スペシャル・金・銀・銅)

王道でいくなら、アツアツ鉄板牛肉が楽しめる「金」。そしてこれをさらに上回る「スペシャル」が登場しました。豚の生姜焼き、エビフライ、鳥の唐揚げに、選べるサラダもついた豪華版。そのボリュームに、ビックリする学生たちも多いとか。ぜひお試しください。

◎ソース、ドレッシングに注目

ご紹介した「チャイナソース」のほか、サラダのドレッシングにも注目。スエヒロオリジナルブランドを含め常時数種類を用意。細かいところにもこだわりが感じられます。

学生食堂
利用マナーリサーチ

美味しい食事を気持ちよく。こんなイエローカードを出されていませんか?



チーフ
堀江 健治さん

担当者ココがおススメ

いかに早く、お待たせしないで料理を出すかということに気を遣っています。元気な声で「ごちそうさま」と声をかけてくれるとうれしいですね。新しいメニューもいろいろと考案していますので、ぜひこんなものが食べたいというリクエストがあったら教えてください。



健康学科4年
村山 竜太さん

学生のイ子押し

健志台ランチ[金]がおすすめ。もちろん大盛りです!この値段で、このボリュームは日体大の学食ならではのですね。お寿司も食べてみたいけど、ちょっと贅沢かな(笑)。野球部なので、大型テレビで放映されるビッグマッチの中継も楽しみにしています。

「う」 ローソンス日体大前店

クセになるあのLチキが ダントツの人気

軽食、雑貨からコピー、公共料金の支払いまで、コンビニの機能をフルカバー。ふだんも、困った時も、キャンパスライフに欠かせない存在です。ローソンのポイントカードを利用すれば、レジもスムーズ。対象商品と引き換えができる特典もあります。
(営業時間:日祝を除く7:00~22:00[通常期])



店員
津田 陽介さん

人気商品 ランキング



- ①Lチキ
- ②おにぎり(シーチキンマヨネーズ)
- ③チョコメロンパン



ワンポイント アドバイス

お昼時、休み時間など、混雑時はそれぞれのレジに2列に並ぼう。その方が、精算する人も、商品を探す人もスムーズに移動することができます。並んでいる間に、小銭やカードを用意することを忘れずに!

- ・コンビニの割りばしやレジ袋などを必要以上に勝手に持ち出してしまう
(一声かけてがマナー。電子レンジの使用も常識を守って)
- ・休憩場所以外で飲食する
- ・店内で長時間おしゃべりしたり、座り込んだりする
“学内だから軽い気持ちで”はNG。日体大のロゴが入ったグッズは日体大スピリットの証明です。

なんとと言っても一番の人気は、クセになる濃味が評判の「Lチキ」。実は、ローソンでフライヤー(揚げ物調理器具)が2台設置されたのは日体大前店が国内初。全国でも2台ある店舗は珍しいとか。これを武器にして、日体大生にヒット商品を続々提供しています。



ササキスポーツ

スポーツ専門用品から 日体大グッズまでおまかせ

1960年ローマオリンピックで、初めて体操日本選手団に試合着を提供したササキスポーツ。カジュアルなスポーツ店が増える中で、日体大生の期待に応える本格的な商品を安価で提供しています。日体大グッズも学生、卒業生に大人気です。

(営業時間:月~土 9:00~17:00
但し土曜日は変則[通常期])



店員
鈴木 みゆきさん

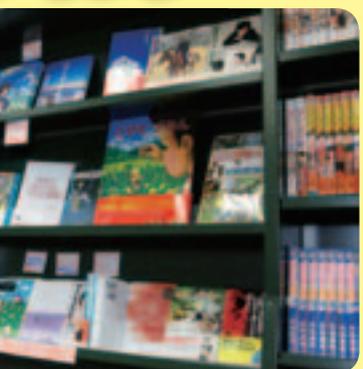
人気商品 ランキング

- ①日体レポート
- ②Tシャツ・エッサッサパンツ
- ③セームタオル

授業用品のほか、日体大を感じるアイテムがいっぱい。卒業生やキャンパス見学に来た高校生にも人気です。特にエッサッサパンツは男子に必携。このほか、水泳をするしなにかかわらず、手軽に使えるセームタオルが人気。合宿や旅行のお供にもおすすめです。



ランキング





ヤマザキYショップ(YSP)

日体大店



ワンポイントアドバイス

どうしても利用時間が集中する休み時間。そんな時に特におすすめしたいのがPASMO学生証による支払い。レジは対応していますので、準備して並んでください。1品、2品の買い物にとっても便利!



品揃え豊富なランチパックをはじめ、菓子パンのバリエーションも充実。カレーパンでは、よこすか海軍カレーパン、昔なつかしカレーパン、軽井沢の幻のカレーパンなど。30~40円で買える駄菓子コーナーも人気。もちろんブラックサンダーも置いてあります。

- ①菓子パン (カレーパン各種)
- ②アイスクリーム
- ③ドリンク(1Lサイズ)

手軽なアイテムから、書籍、本格スポーツ用品まで、日体大ならではのグッズが大集合。専門店では学生割引も。賢く利用して、勉強・スポーツ・ファッションを楽しもう!

「買

思わず手が出る! 菓子パンやデザートも充実

パンメーカーのヤマザキのチェーンだけに、菓子パンや駄菓子など空いた小腹を満たしてくれるプチアイテムが人気。アイスクリームは、真夏にはなんと冷凍ケースが空っぽになってしまうことも。学生食堂とコンビニでフレキシブルに利用してください。



店員

(営業時間:日祝を除く 8:30~18:00 [通常期]) 中島 英津子さん

人気商品 ランキング



コンビニ、専門店 利用マナーリサーチ

学内と言っても街のお店と同じ。こんなイエローカードを出されていませんか?



リズ



日体大アスリートのおしゃれを応援

ウェア、パーカー、Tシャツなど、日体大グッズを販売。他大学の学生も買い求めに来るほどの憧れの商品になっています。日体大とは木造校舎の頃からの付き合いですが、学生の皆さんが色にとっても敏感で、おしゃれになったと感じますね。



店長 小国 弘子さん

(営業時間:月~金 10:30~16:30 但し土曜日は変則[通常期])



三省堂書店

うれしい日体大生価格で本に親しも

ごく一部を除き、教科書、新書・文庫、雑誌のほとんどが10%オフ。また図書カードも利用できます。希望により取り寄せやラッピングなども可能。スポーツ系から星占いの本まで、日体大生の愛読書はバラエティ豊かですね。(営業時間:月~金 9:00~17:00 [通常期])

おすすめ書籍ラン



店員 片山 未樹さん

- ①美女と野球
リリー・フランキー(河出文庫)
- ②一步を超える勇氣
栗城史多(サンマーク出版)
- ③甲子園だけが高校野球ではない
岩崎夏海(廣済堂出版)

話題の『もしドラ』の作者岩崎氏の作品もランクイン。このほか中村俊輔選手の『察知力』(幻冬舎新書)など名選手の著作、自伝も人気。雑誌では『陸上競技マガジン』から『non-no』『sweet』まで、日体大生の敏感なアンテナには驚かされます。



高度専門職業人（スーパーコーチャー・スーパーティーチャー）を養成

平成23年4月

大学院に体育実践学コースを新設



日体大が全国の大学院に先駆けて新たな人材養成モデルを世に問う。博士前期課程に「体育実践学コース」を新設。既設の学系を「体育科学コース」（博士前期・後期課程）とし、「研究」と「実践」という強固な2本柱を確立する。知識基盤社会の実現をリードする大学となるべく、新大学院構想は大学改革の主要なテーマの一つとして位置付けられてきた。この改革により、体育・スポーツにおける世界トップレベルの中核的研究・人材養成拠点を目指して、さらなる一步を踏み出すことになる。

■教育組織

前期課程

学位：修士（体育科学）

体育科学コース

スポーツ文化・社会科学系
トレーニング科学系
健康科学・スポーツ医科学系

体育実践学コース

コーチング学系
スポーツ教育・健康教育学系

新設

進学

後期課程

学位：博士（体育科学）

スポーツ文化・社会科学系

トレーニング科学系

健康科学・スポーツ医科学系

体育実践学コース

「コーチング学系」「スポーツ教育・健康教育学系」の2学系を設置。本コースは博士前期課程のみに設置されており、体育の専門分野で活躍できる高度な実践力を備えた「スーパーコーチャー」「スーパーティーチャー（保健体育教諭および養護教諭）」の養成を目的としています。本コースでは、特に体育の先端的な科学的知識を習得するだけでなく、これらの知識を教育実践の場に統合し、指導力として発揮できるようにするために、反省的なプラクティカム（実習）を重視します。この「体育実践学コース」を修了した後に、博士後期課程で研究を深めることもできます。

日本体育大学大学院 体育科学研究科 体育科学専攻 博士（前・後期）課程

●研究科の構成

使命

日本体育大学大学院は、体育及びスポーツに関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用に貢献して競技力向上に関する研究を推進するとともに、高度な学識と研究能力を持った専門家の養成と、社会の多様な分野で活躍し得る人間の育成を目標とし、スポーツ文化の進展と人類の友好・親善に貢献することを使命としています。

目的

博士前期課程

広い視野に立って精深な学識を授け、体育科学分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養います。

博士後期課程

体育科学分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養います。

標準修業年限	博士前期課程	2年
	博士後期課程	3年
学位について	博士前期課程	修士（体育科学）
	博士後期課程	博士（体育科学）
取得できる免許状（博士前期課程）	中学校・高等学校教諭専修免許状（保健体育） ※ただし、一種免許状を既に取得している者	
	養護教諭専修免許状 ※ただし、一種免許状を既に取得している者	

日本体育大学 大学院
体育科学研究科の歩み

1975年（昭和50）	4月	日本体育大学大学院体育学研究科（修士課程）を開設
1998年（平成10）	4月	大学院体育科学研究科博士（前期・後期）課程開設
2001年（平成13）	3月	単科の体育大学として初となる博士（体育科学）の学位授与（4名）
2003年（平成15）		国士館大学、日本女子体育大学各大学院と連携事業を開始
2011年（平成23）	4月	博士前期課程を体育科学コースと体育実践学コースに再編。 体育実践学コースに「コーチング学系」と「スポーツ教育・健康教育学系」を新設

大学院教育が新たなステージへ。 他大学の先陣を切って体育・スポーツ系専門職大学院を視野に

反省的プラクティカム（実習）を徹底。 画期的な教育モデルに注目ください。



大学院研究科長
高橋 健夫

て十分ではないという現状があります。それは多くの教員養成系の大学でも同様です。基礎的な専門科目は数

学なら理学部、国語なら文学部、英語なら英文科と同じような内容を履修し、教職科目はわずか。3週間ほどの教育実習を経験したらそれで終わりという課程になっています。多くの先生方が、現場に出てから試行錯誤を重ねているのが実態なのです。これでは優れた教員

が育つのは難しいと言わざるを得ません。

教員免許更新制や教員養成課程の6年制化について議論されたり、また2008年には教員養成系の大学を中心に教職大学院が開設されるなど、教員の資質能力向上への取り組みが注目を集めています。

本学においても、全国的先駆けとなって、体育・スポーツ、健康分野に特化した高度職業人（スーパーティーチャー、スーパーコーチャー）を養成する専門職大学院を作りたいと長年構想をあたためてきました。

その背景には、本当に実践力の高い教員を養成するためには学部での4年間の教育だけでは決し

これまで、広く大学院と言えば、研究者養成が主たる目的とされてきました。本学の体育科学

研究科も、昭和50年の開設以来、他をリードする存在として体育・スポーツの科学的・先端的の研究に力を注いできました。その一方で、教員養成における社会的ニーズを踏まえ、今回の改革ではこれまでの大学院の概念を刷新し、「研究」と「実践」という二本柱を明確に打ち出します。即ち、ドクター進学を前提とした「体育科学コース」と、実践者を育成する「体育実践学コース」の2体系に分け、学生や社会の期待に応えていこうというのが狙いです。

新設する「体育実践学コース」は、先に述べたような実行・検証を主としたプログラムを編成していることが特長です。学部で学んできた運動生理学、体育史、体育心理学といった基礎科学を敢えて網羅的に反復することなく、教育・コーチングに関わる科目に絞りカリキュラムを編成します。現場で実践する中で、例えばサッカーの授業をするのであればサッカーの歴史を学び直したり、バ

イオメカニクスの知見を取り入れたり、学問と実践の統合を図ることも教育目標の一つです。

実習形態として、「スポーツ教育・健康教育学系」では、小・中・高の教育現場、他大学院学生とコラボレートした模擬授業などが想定されます。特にマスター2年次では、その時間のほとんどを現場実習に充てるといったような学部の教育実習とは一線を画する本格的な実践の場が提供されます。これに加え、演習により、主観的・客観的なデータに基づいて科学的に授業を検証、

指導計画やその効果を徹底的にデイスカッションしていきます。また「コーチング学系」では、教育現場、スポーツクラブ、JISS等に赴いた指導実践、あるいは在学生メダリストを招いた研究・分析も可能となります。ここでも、スポーツ科学のさまざまな知見や各種データをコーチングの実践にどのように統合していくかという反省的な実証サイクルが展開されます。こうした教育やコーチングに関するプラクティカム（実習）の成果を集大成として修士論文にまとめていくというのが博士前期課程の二年間のイメージです。

よい先生になりたい。よいコーチャーになりたいと思っっている学生は、ぜひ新コースの門を叩いてください。優れた指導者になるための資質は、必ずしも高い競技力ばかりではありません。レベルアップを目指して練習に励んできた経験・プロセスが大切なのです。その情熱を教育にぶつけて、効果的な実践を数多く積み、当初の目標を実現して欲しいと思います。

未来社会を支える柱は教育の向上やスポーツの普及にあると言っても過言ではありません。それを支える高度な指導者養成の必要性に目覚め、実行に移したのは、日本の数ある大学院の中で日体大が初めてであり、まさに画期的な試みであると言えます。将来的には、卒業者を教員採用試験一次試験免除の対象とするなどの施策が期待されます。本コースそのものを重要な研究プロジェクトと位置づけ、教員・学生一体となって成果を示したいと決意しております。



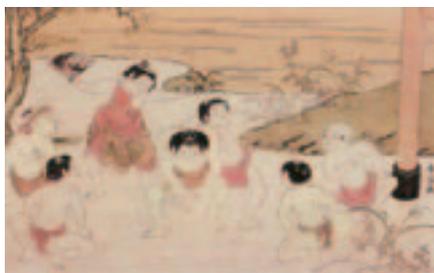
研究者養成(基礎研究)を主眼とするコース

体育科学コース

スポーツ文化・社会科学系

[博士前期課程・博士後期課程]

当学系での課題は、研究対象であるスポーツあるいはそれに関連する諸概念について、歴史的、哲学的、教育学的、社会学的、経営学的、法学的、文化論的、人類学的、メディア論的、レジャー・レクリエーション学的なアプローチ(方法)で探究し、真のスポーツの発展に寄与していきます。



鈴木春信画「子供遊相撲」宝暦1-(176-)年
(日本体育大学図書館所蔵)

トレーニング科学系

[博士前期課程・博士後期課程]



トレーニング科学の実験

この研究分野では、競技力の向上とトレーニングの科学に関するあらゆる研究が取り扱われています。トレーニング科学とは、運動負荷の継続に伴う人間の適応過程を科学的に分析し、スポーツ・健康・体育への応用を図る学問と考えます。その中で一つは運動負荷の原理・方法や運動プログラムの探求に関する研究があります。他は生体側の研究であり、映像による動作分析・筋活動の力学的分析・心身相関のイメージ化による生理心理分析・神経-筋-循環系の個別の生理分析(脳波・筋電図・酸素運搬・心拍数・血圧など)・栄養分析などがあります。スポーツパフォーマンスの向上にとって根幹とされる、「心(メンタル)」・「技(スキル)」・「体(フィジカル)」について、心理学・バイオメカニクス・生理学・体力学あるいは栄養学からアプローチし、それぞれのトレーニング効果について、幅広くかつ実践的な研究を行っています。

健康科学・スポーツ医科学系

[博士前期課程・博士後期課程]

M.R.I.(マグネティック・リゾナンス・イメージング)による測定



本学系は健康の維持・向上、および生活習慣病、スポーツ損傷ほかの予防を目標として、健康科学とスポーツ医科学の基礎・臨床両面から探求し、その発展を期する研究分野です。具体的にはつぎの3つの分野にまとめられます。

- ①身体運動、スポーツを通しての健康の維持・向上、さらには長寿をはかる保健科学の分野
- ②身体運動時の呼吸、循環、消化、代謝などの生理的身体適応を解明する運動生理学、運動生化学といった基礎的分野
- ③身体運動、スポーツにより生じる身体の病的状態(疾病、損傷)の発生要因、予防策を解明する臨床スポーツ医学の分野

高度専門職業人養成(実践的研究)を主眼とするコース

体育実践学コース

コーチング学系

[博士前期課程]



当学系の特徴は、研究者養成を主眼とせず、競技スポーツ指導現場における実践力・即戦力を有する「スポーツ指導者」「スポーツ・インストラクター」「監督」「プロ・コーチ」「専任コーチ」などと呼ばれる職業人を養成することを目的としています。

そして、担当教員の多くがかつてのトップアスリート、あるいは現トップコーチの方々です。

スポーツ教育・健康教育学系

[博士前期課程]

実践力、即戦力のある保健体育教諭、養護教諭を養成することを目的としています。教師に必要な授業科目としてスポーツ教育学・健康教育の理論、体育・保健の授業づくりのほかにプラクティカム(指導実習)の教科が設定されています。

プラクティカムでは、学外における小・中・高校での教育実習(保健体育希望者)、養護実習(養護希望者)を1・2年通して実施します。この実習を通して学校現場を熟知し、児童生徒の様々な健康問題や教育問題を大学院時代に把握し、教員になった時点でその解決手法を駆使できる実力を身に付けてほしいという学系のねらいがあります。

修士論文は、自分の得意とする(実習で学んだ実践的な)分野をテーマとすることが出来ます。教員になってから役立つ研究課題を設定し、研究活動に邁進し自己研鑽の中で実践的な修士論文を完成させていきます。



5学系により研究・教育体制を強化

THE 16TH ASIAN GAMES

フェンシング エペ団体の金メダル

下大川 綾華 (体育学科4年)

自然体で臨むことができた決勝戦。
期待に応えることができたのが嬉しい。

最初は不安がありました。オリンピックと同じような雰囲気の中で先輩方の試合を応援するうちに、私もあの大ピスト(試合を行う舞台)で試合をやってみたくて気分が高まってきました。選手村に張り出されるメダル獲得者の掲示を見て「私もここに名前を載せたい」という気持ちが強くなりました。試合前日は一緒に戦う二人のベテランとともに深夜まで対戦相手のシミュレーションを行い、そのおかげで思ったほど緊張せずに自然体で試合に臨めたと思います。決勝では、「自分のベストを尽くせばいい」という周囲の言葉に背中を押されました。その励ましに金メダルで応えることができ、本当に嬉しかったです。

日体大には高い目標に挑戦できる最良の環境があります。そこから「負けない」という気持ちが生まれ、世界でも通用する技術を身につけることができたと思っています。



中野希望 池田めぐみ 下大川 綾華

写真提供：下大川 綾華

2010年11月12日～27日、中国・広州を舞台に第16回アジア競技大会が開催された。同大会には、選手・役員合わせて、本学関係者85名が参戦。日本勢のメダル獲得に貢献した。中でも、下大川綾華(体育学科4年)が出場したフェンシング エペ団体の金メダルは史上初となる快挙。また、競泳初日には男子400m個人メドレーに出場した堀畑裕也(体育学科2年)が、中国選手と激しいデッドヒートの末、金メダルを獲得。このほか競泳では、女子4×100mリレーの松本弥生(体育学科3年)が3分37秒90の日本新記録を樹立し、銀メダルを獲得した。ベテラン勢に加え、現役学生たちも大いに健闘してくれた今大会。2012年のロンドン五輪に向けさらなる飛躍が期待される。

第16回アジア競技大会で 次代を担うエース達が活躍!

北京とロンドンの架け橋に



メダル獲得者の掲示の前で

写真提供：下大川 綾華

■第16回アジア大会(2010/広州)日体大関係者DATA

競技	氏名	種目	結果
レスリング	松本篤史(卒)	フリー84キロ級	1回戦
	長谷川恒平(卒)	グレコローマン55キロ級	金
	齋川哲克(卒)	グレコローマン84キロ級	1回戦
ウエイトリフティング	山田政晴(卒)	56キロ級	7位
ハンドボール(男子)	篠内克行(卒) 東長演秀作(卒)		銅
ソフトテニス	篠原秀典(院1)	シングルス	1回戦
		ダブルス	銅
		団体	銀
フェンシング	小林幸司(卒)	ダブルス	銅
	高川経生(卒)	団体	銀
		ダブルス	銅
フェンシング	下大川綾華(4) 中野希望(卒)	エペ団体 エペ個人 エペ団体	金 銀 金
バドミントン	山田和司(卒)	シングルス	2回戦
	平田典靖(卒)	団体	準々決勝
	橋本博且(卒)	ダブルス	準々決勝
		団体	準々決勝
	遠藤大由(卒)	混合ダブルス	2回戦
		団体	準々決勝
		ダブルス	2回戦
		団体	準々決勝
ラグビー(女子)	田中彩子(3)		5位
カヌー(スプリント)	阪本直也(4)	カナディアンシングル200m カナディアンペア1000m	銅 4位
アーチェリー	齊藤彩香(2)	個人	17位
スカッシュ	松井千夏(卒)	個人	1回戦
セパタクロー	石野有美(4)	団体	1次リーグ
	河合梓(3)	団体	1次リーグ
	矢野千春(卒)	ダブルス	銅
	渡邊由香(卒)	団体	1次リーグ
	亀岡愛香(卒)	団体	1次リーグ
	寺島武志(卒)	団体	銅
		ダブルス	銅
	山田昌寛(卒)	団体	銅
	林雅典(卒)	団体	銅

競技	氏名	種目	結果
陸上競技	北村聡(卒)	10,000m	6位
	畑山茂雄(卒)	円盤投げ	6位
	岸川朱里(卒)	800m	4位
水泳(競泳)	堀畑裕也(2)	200m個人メドレー 400m個人メドレー	銅 金
	松本弥生(3)	50m自由形	銅
	北島康介(卒)	100m自由形 800mリレー	5位 銀
水泳(競泳)		50m平泳ぎ	4位
		100m平泳ぎ	4位
水泳(シンクロ)	糸山真与(1) 箱山愛香(1)	チーム コンビネーション	銀 銀
水泳(水球)	柳瀬彰良(4) 竹井昂司(2) 志賀光明(1) 塩田義法(卒) 長沼敦(卒) 小林浩司(卒) 伊禮寛(卒)		
	近賀ゆかり(卒) 川澄奈穂美(卒)		銅
			金
サッカー(女子)	近賀ゆかり(卒) 川澄奈穂美(卒)		銅
ボート	小谷健太(卒)	軽量級ダブルスカル	銅
	岩本亜希子(卒)	軽量級ダブルスカル	銀
バレーボール(男子)	米山裕太(卒)		金
体操(体操競技)	出口諒財(3)	団体総合	銀
		個人ゆか	8位
		個人あん馬	4位
	中瀬卓也(院2)	団体総合	銀
		個人総合	6位
		個人つり輪	7位
	田中理恵(院1)	団体総合	銀
		個人総合	銅
		個人跳馬	銀
		個人段違い平行棒	6位
水鳥寿思(卒)		個人ゆか	4位
		団体総合	銀
		個人総合	銅
桑原俊(卒)		個人ゆか	5位
		個人つり輪	5位
		個人鉄棒	5位
	団体総合	銀	
	個人平行棒	6位	
	個人鉄棒	銅	
体操(トランポリン)	外村哲也(卒)	個人	銀
バスケットボール(男子)	木下博之(卒)		4位

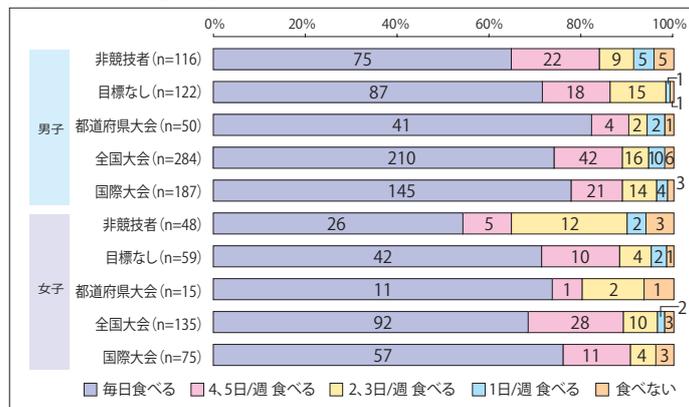


バランスよく食べていますか？—各摂取項目の摂取状況と体調との関係

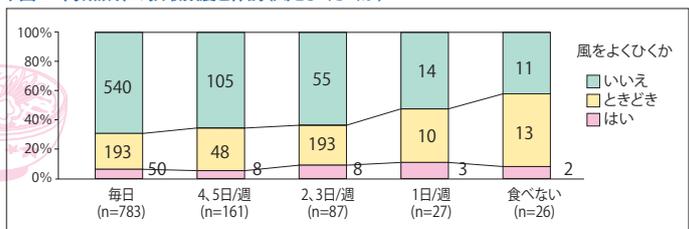
①肉か魚か卵のどれかを毎食食べているか

男女ともにもっとも摂取頻度が低いのは非競技者でした(図2)。また、肉・魚・卵の摂取頻度が高いほど、「風邪をよくひくか(図3)」、「ケガをよくするか」、「排便がない日があるか」という設問に対し、「いいえ」という回答が多く、「授業に集中できない」、「食欲がない」、「だるさや疲れやすさ」を感じる頻度が高い傾向にありました。

◆図2 肉、魚、卵のどれかを毎食食べるか(競技目標レベル、性別での比較)



◆図3 肉、魚、卵の摂取頻度と体調(風をよくひくか)

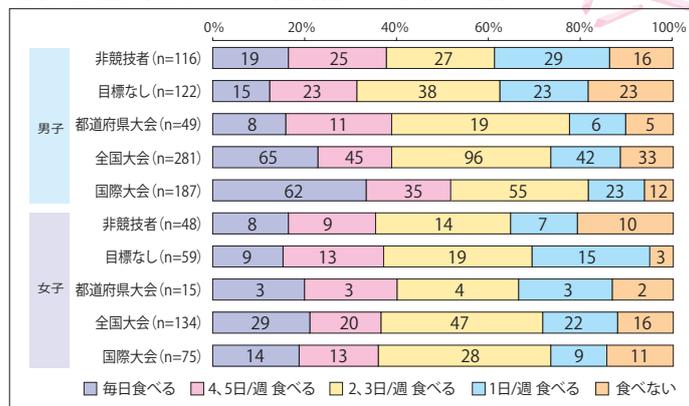


②豆製品(豆腐や納豆)を毎日食べているか

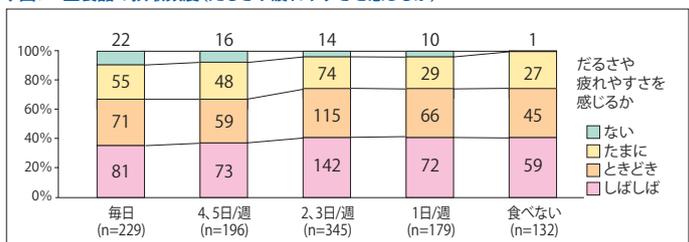
男女ともに、毎日食べている学生は50%に満たず、男子は競技目標レベルが高いほど、毎日食べている学生が多かったが、女子では競技目標レベルでの差はみられませんでした。男女ともに「食べない」と答えた学生がもっとも多いのは非競技者でした(図4)。

また、豆製品の摂取頻度が低いほど、「だるさや疲れやすさ」を感じる頻度が高い傾向にありました(図5)。

◆図4 豆製品を毎日食べているか(競技目標レベル、性別での比較)



◆図5 豆製品の摂取頻度(だるさや疲れやすさを感じるか)



本学では2009年度から新入生を対象に『体育・スポーツ科学入門』が開講されました。『体育・スポーツ科学入門』は、新一年生に体育・スポーツの分野における様々なトピックに触れてもらうことを目的としており、新入生導入プログラムの一つに位置付けられています。

特にその中で“スポーツと栄養—食事で競技力をのばす—”というタイトルのもとで、競技活動における栄養摂取の重要性を導入する講義が実施されました。本学学生にはトップアスリートのみならず、体育教員といった指導者やアスリートを支えるアスレティックトレーナーなどを志す学生も多く、適切な栄養教育が行われることが重要です。その講義の導入としてスポーツ局の管理栄養士にも協力を得て食意識調査を実施しました。前回から3回に渡りその結果からうかがい知れる日体大一年生の食生活や食意識をご紹介します。今回はその二回目です。

2009年度『体育・スポーツ科学入門』「スポーツと栄養」講義担当者：
井川正治、木村直人、鈴川一宏、中里浩一、花原勉、山田保
2009年度『体育・スポーツ科学入門』世話人：伊藤雅充、荻浩三、清田寛
文責：運動生理学研究室 中里浩一、スポーツ局 安達瑞保

方法

1) 対象

体育・スポーツ科学入門第13講スポーツと栄養の授業に出席した新入生1138名のうち、アンケートに回答した新入生の男女1104名(表1)について集計しました。

◆表1 アンケートに回答した新入生学科別男女内訳

	体育学科	健康学科	武道学科	社会体育学科	合計
男子	490	93	75	111	769
女子	173	88	33	41	335
合計	663	181	108	152	1104

2) 調査方法

対象者に記入方法に関する説明を行った後、①将来目指している競技レベル、②食事の競技力への影響、③適切な食事をしているか、④体型について、⑤朝食摂取頻度、⑥食行動変容ステージ(野菜、果物、鉄を多く含む食品、1日3食、バランス、多くの食品、好き嫌い、乳製品、お菓子、食べすぎ)、⑦頻度調査(主食、肉・魚・卵、豆製品、果物、海草・きのこ・いも、ジュース、お菓子、緑黄色野菜、淡色野菜、野菜ジュース、牛乳)、⑧水分補給、⑨サプリメント、⑩アンチ・ドーピング、⑪体重測定、⑫学食利用頻度、⑬体調(口内炎、風邪、ケガ、排便、集中、食欲、疲れ、練習きつい、疲れ残る、日中眠たい)についてマークシートを用いて自己記入式で調査を実施しました。

将来の競技目標レベルを①プロ・オリンピックなどの国際大会レベル、②全国大会レベル、③都道府県大会レベル、④競技をしているが目標がない、⑤競技をしていない(運動部に所属していない)の中から選択してもらい、それぞれ国際大会、全国大会、都道府県大会、目標なし、非競技者として競技レベルごとに比較し検討しました

結果

1) 食品摂取状況

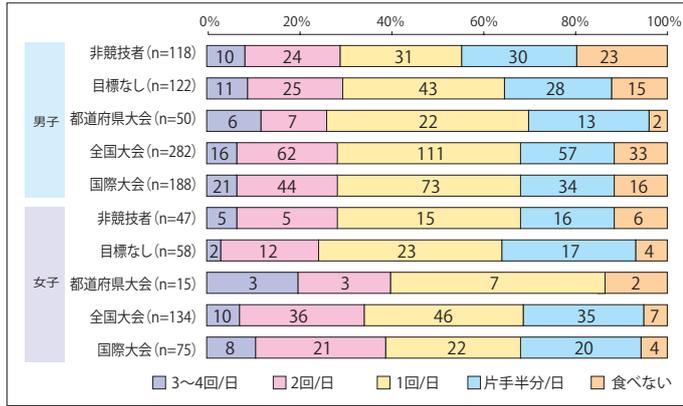
食品群別の摂取状況について、食品ごとにみると、主食(ご飯、パン、麺類など)、肉・魚・卵の摂取頻度は高く、毎日、毎食食べているという回答が70~80%を占めました。豆製品や果物、海草やきのこ類については毎日食べることが少なく、食べないという回答も多い項目であり、摂取状況は食品群間で差がみられました(図1)。

◆図1 摂取頻度

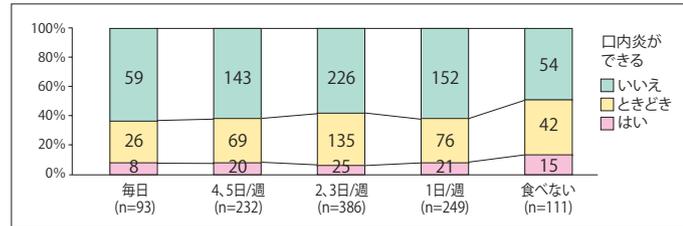


日体大1年生の栄養調査とその実態② (2009年度)

◆図9 緑黄色野菜を1日にどれくらい食べるか(競技目標レベル、性別での比較)



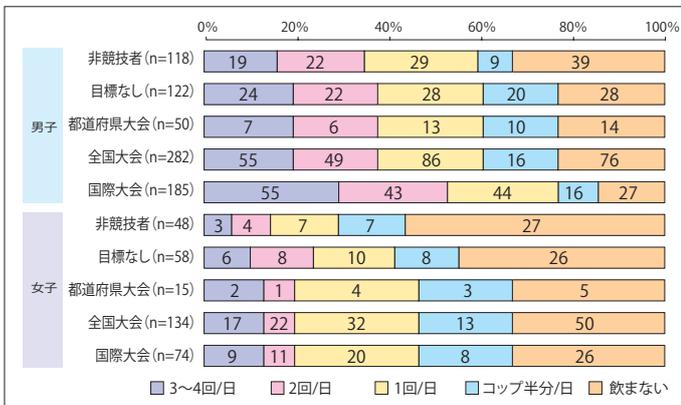
◆図10 緑黄色野菜の摂取と体調(口内炎)



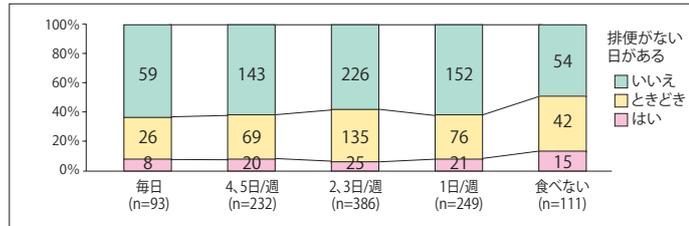
⑤ 牛乳を飲むか

男子の方が女子よりも飲んでる頻度が多く、女子では非競技者の50%以上が『めったに飲まない』と回答し、競技目標レベルが高くなるほど摂取頻度が高い傾向にありました(図11)。また、牛乳の摂取頻度が低いほど、「排便がない日がある」という設問において、『はい』、『ときどき』の回答が多い傾向にありました(図12)。

◆図11 牛乳を飲んでいるか(競技目標レベル、性別での比較)



◆図12 牛乳の摂取頻度と体調(排便)

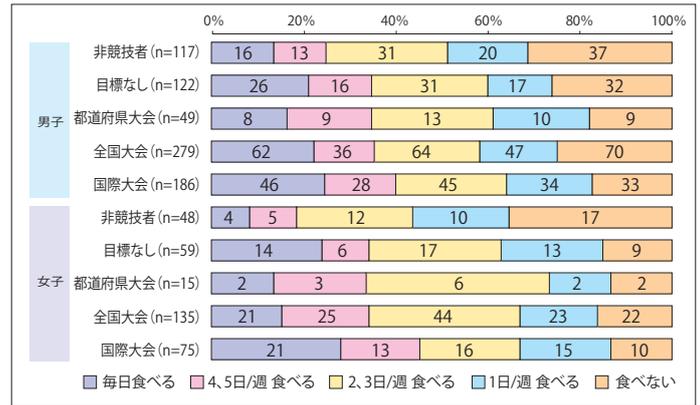


③ 果物、海藻、“きのこ”や“いも”を毎日食べているか

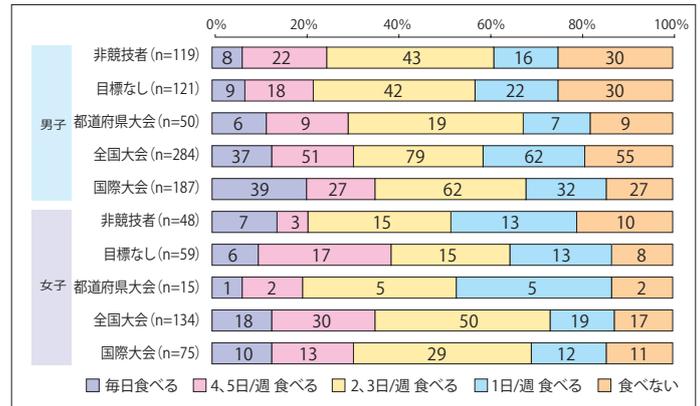
男女ともに、果物を毎日食べている学生は40%に満たず、競技レベルと比較すると、非競技者では食べている頻度が低く、競技者の方がやや高い傾向にありました(図6)。

男女ともに、海藻、きのこやいもを毎日食べている学生は少なく、男子では競技目標レベルが上がるほど摂取頻度が高い傾向にありましたが、女子では競技レベルごとの差はみられませんでした。男女ともに非競技者では『食べない』という回答が多く(図7)、摂取頻度が少ないほど、「日中眠たい」を感じる頻度が高い傾向にありました(図8)。

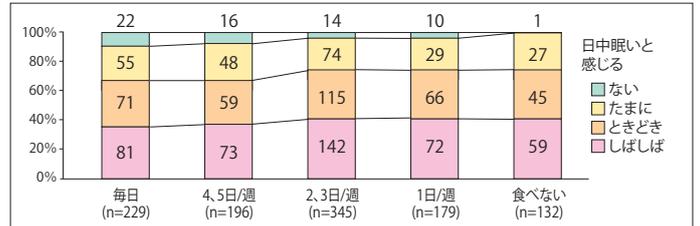
◆図6 果物を毎日食べているか(競技目標レベル、性別での比較)



◆図7 海藻やきのこやいもを毎日食べているか(競技目標レベル、性別での比較)



◆図8 海藻、きのこ、いもの摂取頻度と体調(日中眠いと感じる)



④ 緑黄色野菜を食べるか

競技目標レベル、男女での差はなく、男女ともに非競技者において『めったに食べない』という回答が多くみられました(図9)。また、緑黄色野菜の摂取頻度が低いほど、「口内炎がよくできる」という質問に『はい』という回答が多く(図10)、「日中眠たいと感じる」、「だるさ、疲れやすさを感じる」、「授業に集中できない」と感じる頻度も高い傾向にありました。

コメント

食品ごとの摂取頻度に差があり、ご飯やパン、肉・魚・卵類については摂取頻度が高かったのに対し、豆製品や果物、海藻類、野菜、乳製品の摂取頻度は少ないという結果が得られました。これらは、自炊など食環境などの影響を受けていることが考えられます。競技レベル別では、肉・魚・卵、豆製品、果物、海藻・きのこ・いも、野菜、牛乳といった多くの食品で競技者の方が摂取頻度が高い傾向を示しました。これは本シリーズ①において競技者の食意識が高いことが観察されており、競技者の食意識の高さが食行動にも現われていると思われます。データは割愛しましたが本学学生はお菓子やジュースの摂取頻度は高く、そういった学生は体の変調を訴える例が多い傾向がみられ、健康の維持増進、競技力向上のために改善に取り組むためには、「なぜ、栄養バランスの良い食事が必要であるか」を十分に理解してもらえる食教育を計画し実施することが重要であると考えられます。

平成22年度 [下半期クラブの主な大会成績]

■クラブ名

性別	大会名	種目	順位	氏名
■馬術				
男子	第22回出雲全日本選抜馬術大会		2位 区間賞(2区)	福士優太郎(2年)
■体操競技				
男子	体操 JAPAN CUP 2010	団体総合	優勝	内村航平(4年)、山室光史(4年)
		個人総合	優勝	内村航平(4年)
		個人総合	2位	山室光史(4年)
	第64回全日本学生体操競技選手権大会	団体	優勝	内村航平(4年)
		個人総合	優勝	山室光史(4年)
	第42回世界体操競技選手権大会	団体総合	2位	内村航平(4年)、山室光史(4年)
		個人総合	優勝	内村航平(4年)
		種目別 ゆか	2位	内村航平(4年)
		種目別 平行棒	3位	内村航平(4年)
	第64回全日本体操競技団体・種目別選手権大会	団体総合	優勝	内村航平(4年)、稲寺拓也(4年)、山室光史(4年)、出口諒財(3年)、瀧島龍三(1年)、佐藤巧(3年)
		種目別 ゆか	優勝	内村航平(4年)
		種目別 ゆか	優勝	内村航平(4年)
		種目別 つり輪	2位	山室光史(4年)
		種目別 跳馬	3位	山室光史(4年)
女子	体操 JAPAN CUP 2010	団体総合	2位	田中理恵(院前1)
	第64回全日本学生体操競技選手権大会	団体	優勝	田中理恵(院前1)
		個人総合	優勝	竹内世梨奈(3年)
		2部個人総合	2位	田村侑加(3年)
		2部個人総合	3位	上谷千穂(3年)
	第42回世界体操競技選手権大会	団体総合	5位	田中理恵(院前1)
		エリガンス賞	優勝	田中理恵(院前1)
	第64回全日本体操競技団体・種目別選手権大会	団体総合	優勝	竹内世梨奈(3年)、上谷千穂(3年)、竹内世梨奈(3年)、田村侑加(3年)、内村春日(2年)、池尻麻希(1年)
		種目別 跳馬	優勝	田中理恵(院前1)
		種目別 平均台	優勝	田中理恵(院前1)
		種目別 跳馬	2位	田中理恵(院前1)
■レスリング				
男子	全日本大学グレコローマン選手権	60kg	2位	園部竜也(4年)
		74kg	2位	渡部友章(4年)
		96kg	3位	小山千博(4年)
		学校対抗得点	3位	
	2010年内閣総理大臣杯全日本大学選手権	55kg	3位	奥田賢市朗(4年)
		60kg	2位	井上貴尊(2年)
		66kg	2位	小石原拓馬(2年)
		74kg	3位	山名隆貴(4年)
		120kg	3位	時光一(4年)
	東日本学生秋季新人戦	フリースタイル55kg	優勝	森下史崇(1年)
		フリースタイル55kg	2位	木村洋貴(1年)
		フリースタイル80kg	優勝	五ヶ塚琢磨(2年)
		フリースタイル66kg	優勝	小石原拓馬(2年)
		フリースタイル66kg	3位	石井将太(1年)
		フリースタイル84kg	3位	佐々木健吾(2年)
		グレコローマンスタイル 55kg	優勝	田野倉翔太(2年)
		グレコローマンスタイル 55kg	2位	中野智章(2年)
		グレコローマンスタイル 55kg	3位	森下史崇(1年)
		グレコローマンスタイル 60kg	3位	青藤潤(1年)
		グレコローマンスタイル 66kg	2位	小石原拓馬(2年)
		グレコローマンスタイル 74kg	優勝	中村隆春(1年)
		グレコローマンスタイル 74kg	2位	音泉秀幸(2年)
■バドミントン				
男子	第61回全日本学生バドミントン選手権大会	シングルス	2位	和田周(2年)
		ダブルス	2位	星野翔平(1年)、小林晃(1年)
■ダブルダッチ				
	ダブルダッチ・ホリデークラシック(国際大会)		優勝	福田達也(4年)、福本泰裕(4年)、砂川優樹(4年)、内田陽香(4年)、北村文栄(4年)
■ハンドボール				
男子	関東学生ハンドボール連盟2010秋季リーグ戦		2位	優秀選手賞 優秀新人賞
			2位	信太弘樹(3年)、会田亮祐(2年) 木村昌文(2年)
	高松宮記念杯第53回全日本学生ハンドボール選手権大会		2位	優秀選手賞 特別賞
			2位	小室大地(4年)、信太弘樹(3年) 木村昌文(2年)
女子	関東学生ハンドボール連盟2010秋季リーグ戦	女子1部	2位	優秀選手賞 優秀新人賞 優秀選手賞
			2位	漆畑美沙(4年)、高橋佑奈(3年) 山根エレナ(2年) 鎌倉絵美子(3年)
	第46回全日本学生ハンドボール選手権大会			
■水泳(競泳)				
男子	第86回日本学生選手権水泳競技大会競泳競技	200m個人メドレー	優勝	堀畑裕也(2年)
		400m個人メドレー	優勝	堀畑裕也(2年)
		200m個人メドレー	2位	藤森太郎(1年)
		400m個人メドレー	2位	藤森太郎(1年)
		800mリレー	3位	野地洋平(4年)、堀畑裕也(2年)、田中直規(2年)、古川翔(4年)
女子		総合	2位	
		200mバタフライ	3位	正田千登勢(2年)
		400mリレー	2位	家崎なつ子(4年)、津下尚子(2年)、小口綾乃(1年)、松本弥生(3年)
		800mリレー	優勝	小口綾乃(1年)、家崎なつ子(4年)、松本弥生(3年)、正田千登勢(2年)
		400mメドレーリレー	2位	島添紗妃(2年)、上野野紀(1年)、正田千登勢(2年)、松本弥生(3年)
		50m自由形	優勝	松本弥生(3年)
		100m自由形	優勝	松本弥生(3年)
		200m背泳ぎ	2位	島添紗妃(2年)
		200m個人メドレー	優勝	中岡洋子(2年)
		800m自由形	優勝	小口綾乃(1年)
■水泳(水球)				
男子	2010年度関東学生水球リーグ戦	1部	優勝	竹井昂司(2年)
			得点王	
	第86回日本学生選手権水泳競技大会(水球競技)		優勝	
	第86回日本選手権水泳競技大会水球競技		優勝	
女子	第27回全国女子水球競技大会		2位	
■水泳(飛び込み)				
男子	第86回日本選手権水泳競技大会飛込競技国際大会代表選手選考会	1m飛板飛込	3位	島田貴明(3年)
		シンクロナイズド男子3m	優勝	島田貴明(3年)、安永元樹(2年)
		シンクロナイズド男子高飛込	優勝	荒木駿司(3年)、山田晋吾(2年)
女子		1m飛板飛込	3位	吉田佳世(1年)
		シンクロナイズド3m	2位	吉田佳世(1年)、畑岡映美(1年)
女子	第86回日本学生選手権水泳競技大会(飛込競技)	高飛込	2位	吉田佳世(1年)
		3m飛板飛込	優勝	吉田佳世(1年)
		学校別得点	優勝	
		学校別得点	2位	
■相撲				
男子	第37回東日本学生相撲個人体重別選手権大会	85キロ未満級	2位	星野道太郎(3年)
		100キロ未満級	3位	山下成樹(3年)
		115キロ未満級	3位	川崎史博(4年)、安田千斗(2年)
		135キロ未満級	2位	松永昭久(4年)
		135キロ未満級	3位	新里昌也(4年)
		135キロ以上級	3位	一ノ瀬康平(1年)
		無差別級	優勝	明月院秀政(4年)
	第45回全日本大学選抜相撲十和田大会	団体戦	2位	
	第59回東日本学生相撲リーグ戦	団体戦	2位	
	第17回世界相撲選手権大会	中量級	優勝	伊東良(院前2)
		重量級	3位	明月院秀政(4年)
		個人戦	優勝	明月院秀政(4年)
		個人戦	3位	田中達也(4年)
	第88回全国学生相撲選手権	団体戦	3位	
		個人戦	2位	
	第88回全国学生相撲選手権	団体戦	3位	
		個人戦	2位	
	第59回全国大学選抜相撲高知大会	個人戦	2位	松永昭久(4年)
		個人戦	3位	明月院秀政(4年)
■サッカー				
女子	プレナスなでしこチャレンジリーグ	チャレンジリーグEAST	3位	
■陸上競技				
男子	第7回トワイライト・ゲームス	800m	3位	月野雄一(3年)
女子		800m	2位	吉澤彩夏(3年)
	第79回日本学生陸上競技対校選手権大会	800m	3位	吉澤彩夏(3年)
■バレーボール				
女子	秋季関東大学バレーボールリーグ戦		3位	
	第57回秋宮賜杯全日本バレーボール女子選手権大会		3位	
■ソフトボール				
女子	第25回東日本大学ソフトボール選手権大会		優勝	
■ソフトテニス				
男子	全日本大学ソフトテニス王座決定戦	団体戦	優勝	
	東日本大学対抗ソフトテニス競技大会	団体戦	優勝	



世界体操選手権の学長結果報告
左から田中理恵、阿部副学長、山室光史、藤野事務局長、内村航平、谷釜学長



世界チャンピオンとなった、ダブルダッチサークル



日本学生選手権大会で200m・400mメドレーで優勝した堀畑裕也



第88代学生横綱 明月院秀政

■クラブ名

性別	大会名	種目	順位	氏名
■卓球				
女子	平成22年度関東学生卓球選手権大会	シングルス	優勝	李セイ(4年)
■柔道				
男子	第29回東京学生柔道体重別選手権大会	男子60kg	3位	木戸慎二(2年)
		男子66kg	2位	高上智史(1年)
	第29回全日本学生柔道体重別選手権大会	男子60kg	2位	山本浩史(3年)
		男子60kg	3位	木戸慎二(2年)
		男子81kg	3位	小林雅司(3年)
		男子90kg	3位	下和田翔平(2年)
		男子100kg	3位	延城啓希(4年)
女子	第26回東京学生柔道体重別選手権大会	女子48kg	優勝	笠原歩美(3年)
		女子48kg	2位	林佑美子(4年)
		女子63kg	3位	藤田ひろみ(1年)
	第26回全日本学生柔道体重別選手権大会	女子48kg	3位	笠原歩美(3年)
■剣道				
男子	第57回全日本学生剣道東西対抗試合	団体戦	優秀選手賞	柳谷潤(4年)
	第51回世田谷六大学学生剣道大会	団体	2位	
	第58回全日本学生剣道優勝大会	団体	2位	
女子	第4回全日本女子学生剣道東西対抗試合	団体	優秀選手賞	西野純(3年)
	第51回世田谷六大学学生剣道大会	団体	2位	
	第11回関東女子学生剣道新人戦大会	団体	2位	
■フencing				
男子	第17回東京都ジュニア男子サーブル個人選手権大会	ジュニアサーブル	優勝	中村亮介(2年)
		エペ団体	優勝	
女子	第50回全日本大学対抗選手権大会、第60回全日本個人選手権大会	エペ団体	3位	
	第11回東京都ジュニア女子サーブル個人選手権大会	ジュニア女子サーブル	優勝	上野恵梨子(2年)
	第22回東京都シニア女子エペ個人選手権大会	シニア女子エペ	2位	下大川綾華(4年)
■スケート(ホッケー)				
男子	平成22年度関東大学アイスホッケーリーグ戦	ディビジョン1グループB	2位	
	平成22年度関東大学アイスホッケーリーグ戦 入替戦	ディビジョン1グループA	昇格	
■スケート(スピード)				
男子	ジャパンカップスピードスケート競技会第2戦	1500m	3位	渡部知也(1年)
		5000m	3位	渡部知也(1年)
	ジャパンカップスピードスケート競技会第3戦	3000m	優勝	石原大輝(1年)
		500m	優勝	渡部知也(1年)
	第30回全日本学生スピードスケート選手権大会	1500m	優勝	渡部知也(1年)
		5000m	優勝	渡部知也(1年)
		5000m	3位	千葉勝太郎(2年)
		10000m	2位	千葉勝太郎(2年)
女子	ジャパンカップスピードスケート競技会第1戦	総合成績	優勝	渡部知也(1年)
		3000m	3位	藤村あゆみ(3年)
		1500m	2位	藤村あゆみ(3年)
	ジャパンカップスピードスケート競技会第3戦	500m	優勝	藤村あゆみ(3年)
		1500m	優勝	藤村あゆみ(3年)
		3000m	優勝	藤村あゆみ(3年)
		3000m	3位	阿部真衣(1年)
		5000m	優勝	藤村あゆみ(3年)
		5000m	2位	阿部真衣(1年)
		総合成績	優勝	藤村あゆみ(3年)
		総合成績	優勝	阿部真衣(1年)
■ウエイトリフティング				
男子	第34回東日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会	56kg級	2位	神原佑太(4年)
		+105kg級	優勝	坂本拓也(2年)
女子	第55回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会	56kg級	2位	武田和樹(2年)
	第34回東日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会	58kg級	3位	根岸茜(2年)
		63kg級	3位	片山紳野(2年)
		69kg級	優勝	大城裕里江(3年)
		75kg級	2位	柳川夏子(1年)
	第55回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会	58kg級	2位	根岸茜(2年)
		75kg級	優勝	柳川夏子(1年)
■アーチェリー				
男子	第8回世界学生アーチェリー選手権大会	団体	優勝	坂野 太一(3年)
女子		団体	3位	早川 達(4年)
男子	第49回全日本学生アーチェリー個人選手権大会		優勝	佐藤博之(1年)
男子	第52回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会		優勝	坂野 太一(3年)
			2位	佐藤博之(1年)
			優勝	早川 達(4年)
■トランボリン				
男子	第45回全日本学生トランポリン競技選手権大会	Aクラス シンクロ	3位	吉村祐太(3年)、田崎勝史(1年)
		Aクラス 団体	2位	
	第47回全日本トランポリン競技選手権大会	大学対抗戦	2位	
		団体	優勝	高橋和馬(4年)、吉村祐太(3年)、田崎勝史(1年)
女子	第45回全日本学生トランポリン競技選手権大会	シンクロナイズド競技	2位	高橋和馬(4年)、田崎勝史(1年)
		Bクラス 個人	優勝	渡邊かおり(3年)
		Bクラス シンクロ	優勝	渡邊かおり(3年)
	第49回全日本トランポリン競技選手権大会	Aクラス シンクロ	優勝	山下なつみ(4年)
		Bクラス シンクロ	3位	渡邊かおり(3年)
■カヌー				
男女	第46回全日本学生カヌー選手権大会	カナディアン部門	2位	阪本直也(4年)
		競艇選手(男子カテア)	優勝	阪本直也(4年)
		C-1 1000m	2位	阪本直也(4年)、岡崎広太郎(2年)
		C-2 1000m	優勝	加藤俊成(1年)
		JC-1	3位	阪本直也(4年)
		C-1 10000m	優勝	戸田あかり(3年)
		WK-1 5000m	優勝	阪本直也(4年)、岡崎広太郎(2年)
		C-4 1000m	優勝	岡崎諭(4年)、根本孝幸(4年)
男子	平成22年度日本カヌースプリント選手権大会	200mC-1	優勝	阪本直也(4年)
		500mK-4	3位	坂塚貴章(3年)、平山剛志(3年)、佐藤匠(2年)、内田享佑(1年)
		500mC-1	優勝	阪本直也(4年)
		500mC-2	3位	阪本直也(4年)
		1000mC-1	2位	阪本直也(4年)
		1000mC-2	2位	阪本直也(4年)
■軟式野球				
男子	第33回全日本大学軟式野球選手権大会	優勝		
女子	第24回全日本大学軟式野球選手権大会	優勝		
		最殊勲選手		橋本ひかり(3年)
		優秀選手		前田慶子(4年)、安西陽子(3年)
■ライフセービング				
男子	第25回全日本学生ライフセービング選手権大会	団体総合	優勝	
		個人 ビーチフラッグス	2位	竹田敦(4年)
		個人 ビーチスプリント	優勝	森谷純太(4年)
		チーム ボードリレー	3位	
		チーム オアシスマンリレー	2位	
		チーム レスキューチューブレスキュー	優勝	
		チーム ビーチリレー	優勝	
		チーム 1km×3ビーチランリレー	優勝	
女子	第25回全日本学生ライフセービング選手権大会	団体総合	優勝	
		個人 サーフレス	3位	栗真千里(2年)
		個人 ビーチスプリント	優勝	細野有希(4年)
		チーム オアシスマンリレー	優勝	
		チーム レスキューチューブレスキュー	優勝	
		チーム ビーチリレー	3位	
		チーム 1km×3ビーチランリレー	優勝	
■自転車競技				
女子	第51回全日本学生選手権自転車競技大会	500mタイムトライアル	2位	田中まい(3年)
		インディヴィデュアル・パーシュート	2位	田中まい(3年)
		スプリント	3位	古河麻美(2年)
	文部科学大臣杯第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	16kmポイントレース	3位	田中まい(3年)
		500mタイムトライアル	2位	小島寧子(1年)
		チームスプリント	2位	田中まい(3年)、古河麻美(2年)
		3kmインディヴィデュアル・パーシュート	3位	田中まい(3年)
		ロードレース	3位	田中まい(3年)
		トラック競技・ロード競技総合対抗得点	2位	
■トライアスロン				
男子	日本学生トライアスロン選手権	個人	3位	若杉夢夢(3年)
■ラクロス				
男子	第23回関東学生ラクロスリーグ戦	1部Aブロック	3位	
女子	第23回関東学生ラクロスリーグ戦	1部Bブロック	優勝	
	第2回全日本ラクロス大会選手権大会		優勝	



関東学生卓球選手権大会シングルス優勝 李セイ(4年)



ディビジョン1グループAに昇格したアイスホッケー部



第46回全日本学生カヌー選手権大会 C-4 1000m 優勝



全国優勝した男子軟式野球部

TOPICS

モンゴル国立体育大学と「学術・スポーツ交流協定」を締結

平成22年11月19日(金)東京・世田谷キャンパスにおきまして本学とモンゴル国立体育大学による「学術・スポーツ交流協定」の締結調印式が実施されました。これは、両国および両大学の学術およびスポーツ交流の促進と発展を目的として実施されたものであり、モンゴル大統領、ツアヒヤ・エルベグドルジ閣下が立会人として出席されました。また、日本体育協会会長・元内閣総理大臣、森喜朗議員にご列席いただきました。

交換留学や高地トレーニングに適した環境を提供してもらうなど、競技力向上を目指す上での初めての具体的な協定となることが期待されています。



TOPICS

ドイツスポーツ大学ケルンと、新学術・スポーツ交流協定を締結、調印式が行われました

ドイツスポーツ大学ケルン(DSHS)と交流協定を締結してから28年目を迎えた平成22年12月3日(金)、ドイツから初めてトカリスキー学長とキング国際部長をお招きし、内容を新たにした新学術・スポーツ交流協定書の調印式を実施しました。

この新協定では、長年にわたり発展させてきた両大学の交流と信頼関係に基づき、ケルン側から提案された新たな項目を含むものとなっています。

また調印式には、DSHSから交換留学生第1号であるティート教授も出席され、3日の夜は彼らの率いるダンス学生13名と本学ダンス学生らとの合同演技発表会が大田区アプリコホールにて開催されました。それぞれのダンスチームの個性あふれる演技に、多くの観客から盛大な拍手があがりました。



TOPICS



イラン伝統スポーツ「ズールハーネ」講演実演が行われました。

平成22年12月5日(日)、東京・世田谷キャンパス記念講堂において、イラン伝統スポーツであるズールハーネの実演が行われました。

これは、日本・イラン両国の平和と文化的交流をさらに深めるため、イラン・イスラム共和国国立ズールハーネチームと音楽団が初めて来日し、国内各所で実演を行う中、本学においてもズールハーネと伝統打楽器音楽が披露されたものです。

会場には、レスリング部、柔道部など約150人の学生たちが2時間に亘り異文化スポーツに触れる貴重な体験をしました。

イラン伝統スポーツズールハーネは、3,000年の歴史を持ち、イラン文明の象徴の一つとして詩、文学、音楽、建築美術、道徳心、神秘主義思想を芸術的な動きで表現するパワースポーツで、レスリング大国イランの基礎体力トレーニングとしても行われています。

【編集後記】体育・スポーツ・保育の分野に興味を持つ全国の高校生に、『日体大』の魅力伝えることが広報課の中での私の仕事です。その中でも私が大事にしていることは、現役日体大生のありのままの姿をわかりやすく伝えること。そのために時間を見つけては、授業や実習の様子、部活動の練習や試合をよく見に行くようにしています。近頃は、学生から『次の試合見に来てくれますか?』と声をかけてくれることが多くなり、うれしい限りです。入学式の司会を務めた時、新入生から『高校に説明に来てくれたこと覚えていませんか? 日体大に入学できましたよ。』と声をかけられました。キラキラと輝く彼の顔を見て、この仕事の魅力を改めて感じました。いよいよ一般入試のシーズンですね。日体大と一緒に学べることを心より祈っています。がんばれ、受験生!!